



夕刊
発行所
神戸新聞社

昨年より、大人の男性のためのソーシャルマナー塾を企画&運営させていたでいる。

関西の企業経営者や伝統文化に関わる男性を対象に、女性の目線から見たソーシャルマナーやハンサムなライフスタイルを学んでいただくもので、通称「男塾」と呼ばれている。

講義は、マナーとテールコーディネートの第一人者である二木榮海先生にご指導いただいている。グローバルに活躍する若い世代が、国際儀礼や日本の伝統、会食での振る舞い方、女性へのエスコートなどを学ぶ。

「マナーの基本は人に迷惑をかけること。周

男塾

星加 ルリコ

りの人への気配りができぬれないのよ」。私も身近な人から注意されるほど、素直に受け入れられ余裕」を持つこと。そこから所作やちょっとした一言も生まれてくるのではないかと思えます」

このように二木先生は、作法だけでなく、長年の経験で培われた、人として生きる本質と、暮らしの中にある美学を教えてください。それを学びたいと、関東や九州から通う塾生もいる。

先日、あるご婦人から言われた。「夫を男塾に入れてくれないかしら。私がマナーについて何度言っても全く聞き入れて

また、講義を聴くたびに自己流で曖昧に行動していたことがこんなにも多いものかと愕然とする。いまさら聞けない常識や、日本の歳時記、敬語の使い方など他にも多々ある。「塾では、思いつきり恥をかいでいいのよ。あなたたちの世代がこれからの日本を支えるんだから」。先生の言葉に甘えて、一步一步、精進していきたい。

随想

(ほしか・るりこ) 企画・デザイン会社社長